

課名	項目	内容
総務課	新教育長の就任及び 新教育委員会制度のスタート	平成27年に改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員長と教育長を一本化した責任者として新教育長が就任したことにより、那覇市において新たな教育委員会制度がスタートした。
生涯学習課	那覇市給付型奨学金の創設及び給付開始	成績優秀で意欲があるにもかかわらず経済的な理由で進学が困難な学生に対し、県内大学等への進学及び修学を支援するため、入学金（上限282,000円）と授業料（上限720,000円）を給付する本市独自の給付型奨学金を創設（4月）し、給付を開始（10月から）した。
市民スポーツ課	「ひやみかち なは ウォーク2018」 参加者が過去最高	ウォーキングを通じて、市民の健康への意識の醸成、日常的な健康づくり活動の促進を目的とし、5回目となる今年も11月11日（日）に沖縄セルラースタジアム那覇をスタート、沖縄セルラーパーク那覇をゴールとして開催した。8つのコースに多くの市民が参加し、ウォーキングを楽しんだ。参加人数は4,428人となり、過去最高を更新。また、「なは健康フェア」「なは青年祭」「JOYSPOスポーツフェスティバル2018」も同時開催され、大いに盛り上がった。
施設課	城西小学校体育館、城北中学校体育館・ プール、真和志中学校舎の完成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城西小学校体育館 築35年以上が経過し、老朽化が顕著となっていたことから建替事業に着手し、今年の2月に完成。延べ面積1,215㎡、鉄筋コンクリート造2階建てで、バリアフリーに配慮された施設である。地域に開かれた体育館施設として、多くの市民に利活用されることが期待されるとともに災害時には、地域住民の避難場所としての役割も果たす施設となる。世界遺産に登録された首里城からの景観に配慮し、学校全体が首里の歴史的要素を取り込んだ造りとなっている。</li> <li>・城北中学校城北中学校体育館及びプール 築37年が経過し、老朽化が顕著になったことから建替事業に着手し、今年の5月に完成。体育館が延べ面積1,595㎡、鉄筋コンクリート造2階建て、プール管理棟が延べ面積150㎡、鉄筋コンクリート造平屋建てで、バリアフリーに配慮された施設である。地域に開かれた体育館施設として、多くの市民に利活用されることが期待されるとともに、災害時には、地域住民の避難場所としての役割も果たす施設となる。</li> <li>・真和志中学校舎 真和志中学校校舎は、築40年以上が経過し、老朽化が顕著となっていたことから建替事業に着手し、今年の7月に完成した。鉄筋コンクリート造4階建てで延べ面積4,244㎡となっており、災害時には一時避難場所としての役割も果たせるよう計画している。</li> </ul>
学校教育課	中学校「道徳」教科書の採択	中学校「特別の教科 道徳」教科書の採択についての規約改正を行い、これまで非公開であった協議会を公開し、公正・公平で透明性のある採択（教科書の決定）を進めることができた。
教育相談課	学習支援室「ていんぼう」 平成29年度高校入試 受験者全員合格	来所相談をしている児童生徒の中で、学習支援を必要とする児童生徒や、中学校を卒業して進学を希望する青少年へ学習支援を行っている。 平成29年度に学習支援室「ていんぼう」にて支援を行い、高校入試を受験した生徒71名全員が合格した。
学務課	小中学校新入学学用品費の入学前支給 (就学援助) ----- 那覇市立小中学校校区図のホームページ 掲載	入学後に支給していた新入学学用品費を小・中学校入学の前年に援助（支給）対象となる保護者へ支給（中学校は3月、小学校は11月）。入学準備に必要な学用品等購入の経済的な援助をおこなった。 一枚の地図上で窓口でしか確認できなかった学校区を各小中学校ごとに住宅が表示された指定通学区域図をデータ化し1月にホームページに掲載した。視覚的にも見やすく、わかりやすく、学校区確認ができるようになった。
学校給食課	上間学校給食センターの新設	上間学校給食センター（受配校：上間小学校、寄宮中学校）を新設し、平成30年12月10日から給食を開始した。

課名	項目	内容
教育研究所	学校ICT環境の充実	第6学年に続き、平成30年3月に市内小学校の第5学年全学級に電子黒板を導入した。
中央公民館	第69回九州地区公民館研究大会沖縄大会 第48回沖縄県公民館研究大会那覇大会 の開催	平成30年11月15日～16日、沖縄県立武道館をメイン会場に市内6カ所で分科会を開催し、県内外から約1,200名の参加があり、現在公民館が担う機能と役割等について、発表者の日頃の実践を踏まえ研究協議を深めた。（那覇では8年に1度の開催となっている）
	(若狭公民館) 第70回 優良公民館表彰 『最優秀館』受賞 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第70回 優良公民館表彰『最優秀館』受賞 文部科学省が全国に1万4千ある公民館の中から、事業・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館として選出。沖縄県内から「最優秀館」が選ばれるのは初。</li> <li>・第7回全国公民館報コンクール『最優秀賞』受賞 公益社団法人全国公民館連合会が主催する。「公民館の広報活動向上のために、平成18年度から隔年で実施」されるコンクールで最優秀賞を受賞</li> <li>・第1回 全国公民館インターネット活用コンクール『最優秀賞』受賞 公益社団法人全国公民館連合会及び全国公民館振興市町村長連盟が主催。「公民館の総合的なインターネット活用を推進し、運営に役立つ事例を奨励する」ことを目的。当館のHPやSNSなどでの情報提供や報告等が評価された。</li> </ul>
	(繁多川公民館) 食育活動表彰 教育部門 『消費・安全局長賞』受賞 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育活動表彰 教育部門『消費・安全局長賞』受賞 通年で実施している在来大豆復活と小学校での総合学習での豆腐作りや子どもの居場所事業などの取り組みが評価された。全国の教育関係部門で2番目にあたる消費・安全局長賞受賞。</li> <li>・エジプトに公民館をつくらうプロジェクト エジプト・アラブ共和国カイロ市とインターネットを通じた合同講座を5月12日から計4回開催。ゆくゆくは繁多川公民館をモデルにした公民館をつくりたいと現地の有志が活動中。9月には館長の南が、現地視察。時代に求められる地域に必要とされる公民館の姿がこの交流講座から学ぶことができる。</li> </ul>
	(首里公民館) 「子ども食堂」開設	沖縄出身のアーティストが多数所属するCOCOROHAREプロジェクトの協力のもと、12月1日より毎月第1・第3土曜日の昼12時～14時30分まで、子ども食堂を開設。食事提供や県内のパフォーマーによるパフォーマンス披露などを実施。
文化財課	<p>玉陵 国宝に指定 弁之御嶽 国指定史跡・名勝に指定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉陵 玉陵は首里城西側に位置する琉球王国第二尚氏王統の陵墓で、1501年に第三代尚真王によって築造された。沖縄の破風墓形式として現存する最古で最大規模であり、沖縄における建築文化と葬墓制を象徴する極めて完成度の高い陵墓として深い文化史的意義を有しており、沖縄県の建造物として初めての国宝指定となる。（平成30年12月25日官報告示）</li> <li>・弁之御嶽 弁之御嶽は琉球王国時代に国王自ら参拝し祭祀を行った聖地で、歴史上・学術上価値が高い遺跡として史跡指定された。また、琉球開闢神話にまつわる御嶽として国指定名勝「アマミクヌムイ」に追加指定された。（平成30年10月15日官報告示）</li> </ul>